

# 小口リース取引に係る問題の解消を目指して －当協会の取組み状況（平成26年10月～12月）－

平成27年3月11日  
公益社団法人リース事業協会

- 当協会は、小口リース取引に係る問題の解消を目指して、対応策を講じてまいりましたが、平成26年10月～12月における取組み状況等について、下記のとおりお知らせします。
- 平成26年10月～12月の苦情件数は58件となり、前年の同期と比べて苦情件数が減少（▲21.6%）した結果となりました。
- 苦情件数は減少傾向にあり、苦情発生率も低水準（0.002%）で推移していますが、当協会の責務として、苦情の極小化を目指した取組みを強化してまいります。

## 記

### 1. 小口リース取引に係る問題の状況

- 当協会におきましては、小口リース取引に係る問題の状況及び対応策の効果を把握するため、小口リース取引を行う会員会社（以下、「会員会社」とします。）を対象として苦情の受付件数・内容等を調査しました。

表1 苦情件数

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
リース	3,778件	4,249件	4,532件	3,524件	1,262件	651件
前年同期比	－	(+12.5%)	(+6.7%)	(▲22.2%)	(▲64.2%)	(▲48.4%)
年度	平成25年度	平成26年度 (4月～12月)				
リース	320件	217件				
前年同期比	(▲50.8%)	(▲12.1%)				

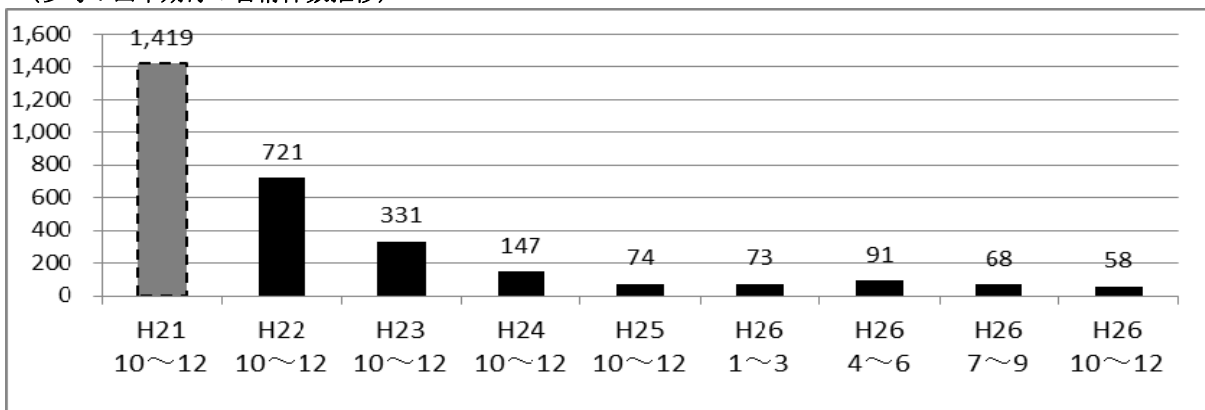
(四半期毎の苦情件数)

平成25年10月～12月	平成26年1月～3月	平成26年4月～6月	平成26年7月～9月	平成26年10月～12月
74件 (▲49.7%)	73件 (▲33.0%)	91件 (+9.6%)	68件 (▲24.4%)	58件 (▲21.6%)

※1 苦情件数は苦情受付ベースで過去契約分に関するものも含まれます。

※2 下段は前年同期比を表します。

(参考：四半期毎の苦情件数推移)



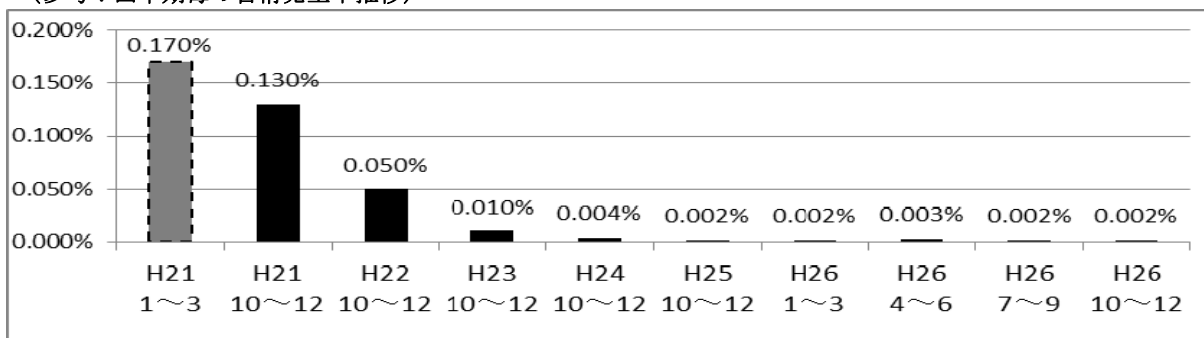
※四半期毎の苦情件数のピーク（平成21年10月～12月）と比較しました。

**表2 苦情発生率（※）**

平成25年10月～12月	平成26年1月～3月	平成26年4月～6月	平成26年7月～9月	平成26年10月～12月
0.002%	0.002%	0.003%	0.002%	0.002%

※苦情発生率＝四半期の苦情件数÷四半期末の小口リースの全実行件数を表します。  
（全実行件数とは、調査時点で存続している全ての契約件数を意味します。）

（参考：四半期毎の苦情発生率推移）



※ 四半期毎の苦情発生率のピーク（平成21年1月～3月）と比較しました。

**表3 苦情が多い物件名**

物件名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
電話機 (FAX含む)	2,016件	1,263件	1,614件	719件	376件	174件
複合機	444件	429件	817件	782件	221件	120件
サーバー	—	1件	49件	11件	7件	9件
ソフトウェア	27件	293件	718件	443件	143件	67件
セキュリティ 関連機器	27件	31件	468件	281件	101件	66件
物件名	平成25年度	平成26年度 (4～12月)				
電話機 (FAX含む)	93件	59件 (▲21件)				
複合機	47件	40件 (+11件)				
サーバー	21件	35件 (+18件)				
ソフトウェア	26件	21件 (+1件)				
セキュリティ 関連機器	32件	15件 (▲7件)				

※1 上記以外の物件としては「ICカードリーダー」「医療機器」「空調機」等となっています。

※2 平成26年度（4月～12月）の下端は前年同期比の件数の増減を表します。

※3 主な苦情内容としては、サプライヤーの虚偽説明、販売方法、説明不足、解約未精算等となっています。

※4 「物件名」は平成26年度の苦情件数の上位5物件を軸に掲載しています。

## 2. サプライヤー対応（平成 26 年 10 月～12 月）

- 会員会社におきましては、平成 26 年 10 月～12 月の間にユーザーから苦情の申し出があったサプライヤー（33 事業者）について、その内容等を確認しました。
- この確認の結果、苦情の原因として販売方法に問題のあるサプライヤーについて、取引停止又は改善指導を行いました。

**表 4 サプライヤー対応（平成 26 年 10 月～12 月）**

苦情の申し出があった サプライヤー	取引停止した サプライヤー	改善指導した サプライヤー
33 事業者	10 事業者	18 事業者

## 3. 苦情の解決等の状況

- 会員会社におきましては、苦情の申し出があったユーザーについて、苦情内容を確認した上で苦情の解決に努めています。
- 当協会では、平成 23 年 1 月以後のリース契約に係る苦情について、会員会社から苦情内容及び解決内容等の報告を受けています。

**表 5 ユーザーからの苦情の解決等の状況（平成 26 年 10 月～12 月）**

調査中	協議中	解決済	その他	合計
3 件 (3 件)	32 件 (30 件)	22 件 (10 件)	1 件 (0 件)	58 件 (43 件)

※（ ）内は平成 23 年 1 月以後のリース契約に係る苦情件数を表します。

**表 6 平成 23 年 1 月以後のリース契約に係る苦情原因と解決等の状況**

原因	協議中	解決済	「解決済」の解決内容
サプライヤーに起因するもの	21 件	7 件	契約継続 4 件、契約解消 3 件
ユーザーの事情等によるもの	7 件	1 件	契約継続 0 件、契約解消 1 件
リース物件に関するもの	2 件	2 件	契約継続 1 件、契約解消 1 件
その他	－件	－件	契約継続 ー件、契約解消 ー件

※契約継続については、ユーザーと協議して合意の上で契約継続をしています。

## 4. その他

- 当協会におきましては、リース相談窓口を設置し、リースに関する各種ご相談を受け、問題解決のために参考となる助言を行うとともに、小口リースに関する問題の情報交換及び対応策の検討を行うために、小口リースの問題に関する情報収集・分析、データベース等への蓄積等を行っています。

**表 7 リース相談窓口の相談件数等**

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 4 月～12 月
690 件	705 件	510 件	475 件	491 件	342 件

※平成 23 年度から、小口リース以外のご相談（東日本大震災関係等）を除いています。

(物件別内訳)

物件名	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 4月～12月
電話機等 (FAX 含む)	286 件 (41.4%)	231 件 (32.8%)	186 件 (36.5%)	142 件 (29.9%)	151 件 (30.8%)	99 件 (28.9%)
複写機	91 件 (13.2%)	81 件 (11.5%)	74 件 (14.5%)	92 件 (19.4%)	90 件 (18.3%)	74 件 (21.6%)
電子プレーカー	45 件 (6.5%)	37 件 (5.3%)	23 件 (4.5%)	25 件 (5.3%)	52 件 (10.6%)	42 件 (12.3%)
ホームページ	110 件 (15.9%)	119 件 (16.9%)	57 件 (11.2%)	41 件 (8.6%)	46 件 (9.4%)	23 件 (6.7%)
ソフトウェア	22 件 (3.2%)	28 件 (4.0%)	23 件 (4.5%)	22 件 (4.6%)	16 件 (3.3%)	22 件 (6.4%)

(原因別内訳)

原因	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 4月～12月
サブライナーに起因 するもの	373 件 (54.1%)	319 件 (45.2%)	236 件 (46.3%)	250 件 (52.6%)	232 件 (47.3%)	161 件 (47.1%)
ユーザーの事情等 によるもの	48 件 (7.0%)	56 件 (7.9%)	28 件 (5.5%)	52 件 (10.9%)	89 件 (18.1%)	75 件 (21.9%)
リース契約の内容 に関するもの	55 件 (8.0%)	104 件 (14.8%)	113 件 (22.2%)	61 件 (12.8%)	47 件 (9.6%)	40 件 (11.7%)
リース終了(再リース) に関するもの	32 件 (4.6%)	38 件 (5.4%)	28 件 (5.5%)	28 件 (5.9%)	19 件 (3.9%)	19 件 (5.6%)
リース物件に関 する内容	18 件 (2.6%)	15 件 (2.1%)	4 件 (0.8%)	9 件 (1.9%)	28 件 (5.7%)	8 件 (2.3%)

※1 数値は相談件数、%は構成比を表しています。

※2 「物件別」、「原因別」は平成 26 年度の相談件数の上位 5 物件を軸に掲載しています。

※3 内訳の分類は相談内容に基づき行っています。

表 8 消費生活相談データベースの相談件数 (参考)

年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
リース	9,238	10,752	7,835	6,310	5,972	6,021
うち電話機類リース	7,352	8,700	5,500	3,810	2,974	2,975
年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
リース	4,838	3,926	3,493	3,130	2,442	
うち電話機類リース	—	—	—	—	—	

※国民生活センター・消費生活相談データベースより。「リース」は「リースサービス」により検索しました (平成 27 年 3 月 5 日時点)。「電話機類リース」は国民生活センター調査となります (平成 22 年度以降の件数は非公表のため不明)。

〈リースサービスの販売購入形態別内訳：平成 26 年度〉

訪問販売	店舗購入	電話勧誘 販売	通信販売	訪問購入	マルチ 取引	その他 無店舗	ネガティブ オプション	不明・ 無関係	合計
1,443	295	90	14	9	7	10	0	574	2,442

※国民生活センター・消費生活相談データベースの「リースサービス」の「販売購入形態別」により検索しました (平成 27 年 3 月 5 日時点)。小口リース取引に関連する相談は「訪問販売」に含まれていると考えられます。

以上